



衛藤さん：小学5年生の息子と3年生の娘の母。現在は自身の事業をメインにシフトし、職場に籍を残しながら繁忙期のみパートする体制に



古田さん：10～16時のパート勤務。子どもが休みの土日と、自営業のご主人が休みの月曜日は自身も仕事はお休みし、火～金のみ勤務



藤田さん：子どもとの時間もとれる職場に絞って再就職活動。平成28年2月からパート社員、令和3年7月から正社員として勤務。高校1年生と3年生の娘の母

情報収集をしていた時、SNSでたまたま大分県の「女性のためのおしごとフェスタ」の情報を見つけた。面接に行くのも不安だったので、休みや勤務時間など譲れない条件を話したところ、無理なく働ける今の会社に出合いました。
藤田さん：出産前に働いていた会社から声がかかり戻ったのですが、帰宅が遅くなることも多くて、子どもも小さかったので、できるだけ一緒に過ごしたいと思いつつ、正社員として働ける場所を探していたのですが、どこも難しかったんです。そんな時、前職で同僚だった人に声をかけてもらいました。正社員でありながら都合がつけやすいことが決め手でした。

「働きやすさを感じる」ことは？
衛藤さん：子どものことで急に早退したいときなどは、お互いで協力し合える環境が整っていることです。
古田さん：自分でシフトを決められることです。在宅でも仕事ができるし、急な休みも快く受け入れてもらえるので言いやすいです。
藤田さん：子どものことをみんなが気にかけてくれて、何かあったら早く帰ってあげて」と声をかけてくれます。子育てをしている女性が多い職場ならではの社風かもしれないね。

「再就職してよかったと思う」ことは？
衛藤さん：誰かに必要とされていると再就職できました。職場では、母親でも妻でもなく「自分」なんだと実感します。子どもが小さい頃は、二人で向き合っているだけでは行き詰まってしまうことも。仕事があるからこそ、子どもとの時間の大切さを改めて感じられるようになりました。
古田さん：休職中は「私なんでも」にネガティブで、家事も完璧にしなきゃとプレッシャーを感じていましたが、今は自信を取り戻して、家事も「適度」ができるようになりました。仕事と休みのメリハリもつけられるようになった気がします。
藤田さん：人と接するっていうのが好きです。仕事柄、いろいろな現場でたくさんの人

家庭と仕事を両立するポイント

「できない」を素直に伝えること。奮闘する母親の姿を見て、家族は自然と協力してくれるようになりました。

藤田さん

夫と分担しながら、できる人がやるというルールに。でもそれを当たり前とせず「ありがとう」は必ず伝えます。

古田さん

相手に求めすぎないこと。「これやってくれただけで十分」と気持ちを大きく持つことが大切だと思います。

衛藤さん

おしごとフェスタ

大分県 女性の多様な働き方支援事業

Matchwork マッチワーク

大分県内企業の採用担当者へ直接話せる「おしごとフェスタ」を開催します。面接のように堅苦しくない雰囲気なので、働くことの不安や気になることをざっくばらんに聞けます。ぜひ、お気軽にお越しください。

主催 / 大分県 企画・運営 / ニッコン株式会社 TEL.097-533-2299(担当 古川・佐藤) マッチワーク 大分 検索 マッチワークWEBサイト

2023年 10月30日(月) / 11月30日(木) 各日 10:00～15:00

対象者 大分県内で就職を考えている女性

会場 J:COM ホルトホール大分 3F 大会議室(大分市金池南1-5-1) ※オンラインでも参加できます

参加無料 お子様連れ大歓迎!

予約・申込はこちら

自分らしく、心豊かに生きる!

女性の働き方座談会



衛藤 直美さん(43) TRV株式会社/ plain jane [TRY株式会社]の事務職として働きながら、2021年にお菓子の店「plain jane(プレーン ジェーン)」を開業。

古田 未紗さん(39) 株式会社THINK-DO.BE 広島県出身で、結婚を機に大分市へ。昨年のマッチワークイベントで出会った「株式会社THINK-DO.BE」で経理事務を担当。

藤田 由美子さん(43) ワタキューセイモア株式会社 業務部エリアサポート社員として、主に病院の新規立ち上げサポートや人材教育などを担当。

結婚、出産、育児などのライフイベントをきっかけに仕事を退職する女性はまだまだ多いようです。「家庭と仕事の両立」と言葉では簡単ですが、実際は容易なことではありません。子育てや家事を第一に考えながらも再就職を選択した女性たちにお話を聞くと、それぞれのケースが見えてきました。

「前職を辞めた理由を教えてください。」
衛藤さん：長く勤めていると責任ある仕事を任せてもらえる分、帰りが遅くなることも増えました。小学生くらいになると習い事の送迎などが必要になるので仕事との両立が難しいのですが、やりたいことは我慢させたくなかったんです。自分の中で子どもに対する比重が大きくなったことが一番の理由ですね。
古田さん：結婚を機に大分市に引っ越してきたので、退職せざるを得ませんでした。知らない土地での暮らしに精一杯だったし、妊娠したこともあって、再就職はまだ先だと漠然とした感じでした。
藤田さん：役職もあり、会社から求められることが増えて残業が多くなっていました。実家に預けて両親にサポートしてもらおうような状態だったので、もっと子どもと一緒に過ごしたいというのが退職のきっかけです。

「今の職場に再就職を決めた理由を教えてください。」
衛藤さん：以前勤めていた会社に声をかけてもらって再入社しました。お菓子屋さんとしていずれ起業したいことも相談すると、すごく応援してくれて。仕事、家庭、起業の準備と三足のわらじ状態のときは大変でしたが、同時進行できたのは会社が柔軟に対応してくれたおかげです。
古田さん：いつかは再就職をと思い、妊娠中に職業訓練校に通って簿記の勉強をしました。自営業の夫のサポートをしながら、家庭に影響のない範囲で働ける職場はないかと

